

**平成29年度 私立大学研究ブランディング事業評価表(第4回)**

評価者 \_\_\_\_\_

**事業名**

北陸地方の生薬研究と食文化を基盤とした健康と創薬イノベーション

**期間**

平成28年4月～平成31年3月

**概要**

北陸地方は生薬等の研究に特色があり、海産物資源も豊かで独自の食文化の発展を遂げた地域である。本学は、開学以来これまで東洋医薬学、予防・健康薬学を重視し研究活動を行っている。本事業では、北陸地方由来の薬用植物や自生植物、生薬、伝統的食材等を出発材料とし、より効果のある物質を探索することに主眼をおき、新たな商品開発と創薬研究を構築し健康寿命の延伸や在宅医療等の生活の質向上に寄与することを目的とする。

**実施目標**

本事業の4つの領域である「文化・薬学・健康・経済」の研究者が新たな商品開発と創薬研究を構築し健康寿命の延伸や在宅医療等の生活の質向上に役立つことを目的とし、健康社会の実現のために研究を進めていく。

クマザサの抗ウイルス効果・カワラケツメイに含まれるフラボノイドに注目し、その作用を解明することで効果的な予防法・治療法の確立、また健康増進に役立つ商品化を進める。

カワラケツメイから2種のフラボノイド配糖体(F1およびF2)を単離・同定し、F2が骨芽細胞と破骨細胞の分化を濃度依存的に促進することは報告済みである。

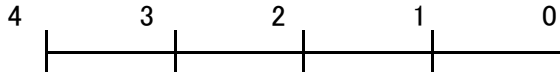
**実施計画**

1. カワラケツメイに含まれるフラバノン誘導体から、より高活性のフラボノイドを化学合成する。
2. クマザサに含まれるトリシンの誘導体で、より効果が高い物質を化学合成する。
3. 新規物質が得られた場合には、特許出願をおこなう。
4. フラボノイドを利用した未病からの健康状態回復、アンチエイジングを目的とした機能性食品、健康補助食品、化粧品等の商品開発、クマザサを利用した抗感染症商品(口腔ケア関連商品)の開発をおこなう。
5. 北陸地方由来の薬用植物や自生植物、漢方薬や生薬、伝統的食材等から新規物質の探索をおこなう。

文化領域

目標 加賀藩政期の服用薬の検証、食材及び料理法の記録、老舗料理店、食品会社との連携交渉

進捗評価



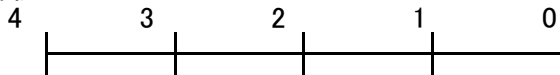
- 4 十分行っている。8割以上できている
- 3 行っている方である。5割以上できている。
- 2 十分ではないが行っている。5割未満。
- 1 ほとんど行っていない。
- 0 まったくしていない。まったくできていない。

薬学領域

目標 (1)クマザサ由来フラボノイドの構造を基に、コンピュータ解析でより生理活性の高い化合物をデザインし、その効果の予測を行う。  
(2)予測された化合物を有機化学合成し、基となった化合物との活性を比較し、その効果について検討する。

実施計画 (1) カワラケツメイに含まれるフラボノイドのコンピュータ解析をおこない、より薬理活性の高いフラボノイドを化学合成し、骨粗鬆症に対する薬理活性を検証する。  
(2) トリシンの作用機序の結果から、その標的物質とトリシンとの相互作用をコンピュータ解析で数値化する。そして、トリシンの末端の構造を修飾した化合物による阻害作用をコンピュータ解析で予想し、より活性の高い物質の探索と新規物質について検討をおこなう。

進捗評価



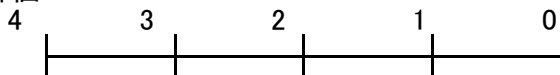
- 4 十分行っている。8割以上できている
- 3 行っている方である。5割以上できている。
- 2 十分ではないが行っている。5割未満。
- 1 ほとんど行っていない。
- 0 まったくしていない。まったくできていない。

健康領域

目標 (1)メーカーへの商品開発への提案、企画  
(2)商品の開発

実施計画 (1)本学教職員および学生を対象に歯科検診、唾液検査、口腔関連QOL調査を実施する  
(2)経済領域と連携し、口腔ケア関連商品に対する提案、試作品に対する協議

進捗評価



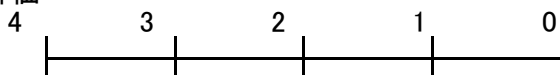
- 4 十分行っている。8割以上できている
- 3 行っている方である。5割以上できている。
- 2 十分ではないが行っている。5割未満。
- 1 ほとんど行っていない。
- 0 まったくしていない。まったくできていない。

経済領域

目標 製品化する候補品を4品程度に絞り込む

実施計画 洗い出した候補品をいくつかの分野(食品、薬、化粧品、オイル製品、衣類等)に分け、それぞれの専門家や企業に実現可能性を相談する。さらに、実現可能性、将来の収益予想等のROIを調査評価の上、候補品のPriorityを決定する。  
・製品化のための市場調査を実施  
・産物の効果を動物実験を通して実証する  
・製品化できる会社を調査、交渉

進捗評価



- 4 十分行っている。8割以上できている
- 3 行っている方である。5割以上できている。
- 2 十分ではないが行っている。5割未満。
- 1 ほとんど行っていない。
- 0 まったくしていない。まったくできていない。

## ブランディング事業全体の2年目の達成度・進捗状況について

① 特に優れている点

--

② 問題点と成果の活用見通し

--

③ 今後期待される研究成果

--